浦ノ城（特になし）（特になし）（太宰府市連歌屋）（浦ノ城公園）

　筑前国の守護、少弐氏の居城と伝えられる。城の構えの詳細はわからないが、昭和 44 年、 開発に伴う発掘調査で、御笠川と、コの字形の急峻な斜面をもつ丘陵とを巧みに利用して造られていたことが判明した。

少弐氏の六代頼尚は足利尊氏を助けて、浦ノ城北側の原山の一坊に尊氏を迎えている。

「浦ノ城跡」の案内板より